

12月8日（月）

涙を拭いて

聖書朗読 詩篇 116：1～9

まことに、あなたは私のたましいを死から、私の目を涙から、私の足をつまずきから、
救い出されました。私は、生ける者の地で、主の御前を歩き進もう。

詩篇116：8～9

過去の傷はあまりにも深く、友人は50年もの間ふるさとに帰れずにいた。しかし、フランス南部に向かう車中で彼女はふとつぶやいた。「故郷に寄ってみたいわ。今はどんなかしら」。私は急いで高速道を降りた。一般道を走って数分もすると私たちは旅行会社のパンフレットにでも載っていそうな小さな村のただ中にいた。どの家の窓にも植木鉢が飾られ、小さなカテドラルは整理が行き届き、のどかな光景であった。

しかし第二次世界大戦の終戦時、村の情景はおよそ違ったものだった。戦時中ナチス軍は各家に隊員を住ませることを村民に義務付け、村民は彼らの横暴に四年に亘って苦しめられていた。更に、敗戦の便りがもたらされると隊員は敗走の直前、村の男子を手当たり次第に殺戮したのだった。

そして今、私の大切な友人は生まれ故郷のこの村に降り立った。兄弟、おじ、従兄弟たちの名が刻まれた戦没者記念碑の前にたたずみ、彼女は微塵の憎しみも見せず、静かに祈りを捧げた。そしてしばらく村を歩いて回り、彼女はただ一言だけ私に言った。「さあ、行きましょう。」

讃美歌 312

祈り 愛なる主よ。過去を思い出すのがあまりにつらいことがあります。このような試練にあった時、私たちが憎しみに打ち勝てますよう、また後悔の念に押しつぶされてあなたのお与えくださる喜びに気づかない日々を過ごしてしまわぬよう、お力をください。

イエス様を通してお祈り申し上げます。アーメン。

ウィリアム・E・マクダナウ

カンボジア “The Ship of Life”
（「いのちの舟」）

今日の力

2014年12月8日～12月14日

翻訳 箕作玲子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月9日(火)

自由を得て

聖書朗読 詩篇 119:17~32

こうして私は、あなたのみおしえをいつも、とこしえまでも、守りましょう。そうして私は広やかに歩いて行くでしょう。それは私が、あなたの戒めを求めているからです。

詩篇 119:44~45

私の愛犬はゴールデン・レトリバーで名をナツメグと言いました。ナツメグは5歳になるまでカリフォルニアの騒然とした都会で過ごしました。散歩といえば、渋滞だらけの道路に沿ってリードにつながれてするものと決まっており、ナツメグは自由に走り回った経験ありませんでした。

ナツメグが5歳を過ぎた頃、私たちは一家でニューメキシコ州の山中、約12,000㎡もの広さの高地に引っ越しました。そこは広々とした草原で、周囲を松の木に囲まれ、国有林に隣接していました。ナツメグは天にも昇った心地でした。毎朝、私がドアを開けてあげるとナツメグは黄金色の毛をそよ風に揺らしながら草原の中へ駆けて行ったものです。野原を全速力で走っては、リスを追いかけたりモグラの穴を掘り返したりし、疲れると松の木陰で休みをとって鳥やヘラジカを待ちます。ナツメグは初めて自由を得て、本来のあるべき姿に戻ることができ、はちきれそうに幸せでした。

多くの方が誤解していますが、主が私たちにお与えくださる戒めは私たちに制約を押し付けたり、自由を奪ったりするものではありません。むしろ、主の戒めは私たちに自由にしてくださいます。解放してくださるのです。主の戒めによって、ありのままの姿で神様がお備えくださった素晴らしいご計画に向かって駆けて行くことができます。主の戒めの道に沿って一步を踏み出した時から、私たちは主の器となります。そして私たちを通して為される主のみわざに限界はありません。

讃美歌 263

祈り 天にましますお父様。私たちの心を解き放ち、自由にしてくださいましたことに感謝いたします。お父様の戒めの道に沿って駆け続けられますように、また、私たちをお創りくださった本来のあるべき姿の中でみ心に適った器でいられますようにお祈り申し上げます。

イエス様の尊き御名を通して。アーメン。

シル・ボエン

コロラド州 ロングモント

12月10日(水)

ソロモンの知恵

聖書朗読 詩篇 127編

結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。

伝道者の書 12:13

詩篇と聞くと、ダビデを思い起こしがちですが、実際には複数の作者がいました。本日の聖書箇所詩篇127篇は冒頭に「ソロモンによる」と記されていますから、世界の智者とも評される人物の言葉を、現代の私たちも読んでいるのかもしれませんが。

ソロモン王は立派な屋敷や都市、そして歴史に残る壮大な神殿を建てました。庭園や公園、貯水池などの大規模な公共事業にも着手しました。しかし、ソロモンは伝道者の書においてこれらの成果や自らの成功を無意味でむなしいものと切って捨てます。全ては「風を追うようなもの」と振り返ったのです(伝道者の書1:14)。そして詩篇127篇1節では、成功をはかる真の基準を私たちに与えてくれます。『主が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなしい。』ソロモンの建てた屋敷や神殿は、見た者の目にはさぞ栄えあるように映ったことでしょう。しかし、ソロモン自身は栄光の真の意味を知っていました。栄光は全て神様に捧げなければいけないのです。

ソロモンは人生を通して物質的、経済的な成功のむなしさと神様にとっての意味ある成功の両方を知りました。私たちも家庭で、あるいは家族の中で、職場で、学校で、自身にも周囲にもはっきりと分かり、称賛されるような成果をもたらそうと一所懸命になっってしまうことがあります。しかし、真の喜びや満足を得るのは神様をたたえ、愛する時ではないでしょうか。

讃美歌 339

祈り 天にましますお父様。人生を歩んで参りました中で、常に私たちに寄り添って下さいますことを感謝します。どうぞこれからも私たちを導き、奉仕する機会をお与えください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

メアリー・エスティーズ

カリフォルニア州 サウザンドオークス

12月11日(木)

主をほめたたえよ

聖書朗読 詩篇 145:1~3

「主、わが力。私は、あなたを慕います。」

詩篇 18:1

皆さんもそうだと思いますが、私は愛する者と共に過ごす時間が大好きです。成人した子を持つ親として、子や孫が遊びに来るのを心待ちにしています。子供たちに囲まれて過ごす恵みに浸るのは幸せです。

神様も同様でいらっしゃるのではないのでしょうか。私たちの喜びを自らのお喜びとなさいます。主をほめたたえることは祈りの重要な意味の一つですね。また、私たちが賛美と信頼をもって神様をほめたたえるとき、幼い子供たちは多くを学びとります。

主と一対一で過ごす時間を持ち、その貴重な時間を絶えず楽しみにする姿勢を持ちましょう。主をほめたたえましょう。主は私たちの賛美に値するお方であると声に出しましょう。偉大なみわざを賛美し、貴き御名をほめたたえ、みとめ、敬いましょう。

主の愛に感謝しましょう。主における喜びに浸りましょう。与えられた毎日を大切に生き、永遠の命への道を歩みましょう。

これらの提案はどれも、私たちの祈りの在り方に新しい命を吹き込むことでしょう。日は昇り、影は逃げ去ります。神様はそこにいらっしゃる。暁にも、夕暮れにも、神様はそこにいらっしゃる。

私たちへの神様の愛は永遠です。神様は子供たちのことをずっとお考えくださいます。神様のみ恵みは私たち全てをお守りくださいます。私たちと共に歌も歌ってくださいます。私たちがつまずき、転倒しても神様はそこにいらしゃってくださり、助け起こしてくださいます。

神様は栄光への希望でいらっしゃる。

讃美歌 534

祈り 主よ。あなたとあなたのいと貴き御名をほめたたえます。くすしきみわざを賛美いたします。あなたへの畏敬が湧き出ずにはいられません。

あなたの美しい御名を通して。アーメン。

ジョーン・クレイトン

ニューメキシコ州 クロービス

12月12日(金)

白線

聖書朗読 箴言 3:1~6

あなたの目は前方を見つめ、あなたのまぶたはあなたの前をまっすぐに見よ。

箴言 4:25

会議がやっと終わり、私は60キロの長い家路についた。辺りは日も暮れて暗く、冷たい雨が降っていた。家と会社を往復するこの道は何千回も運転しており、道順は身体が覚えていた。

しかし、今回は事情がちょっと違っていた。暗闇に包まれてどんよりとした空気が漂うだけでなく、最近道中で工事が始まっているのだ。工事現場に差ししかかるところでは道路が急に右に曲がり、更に現場を過ぎてすぐのところで、二車線に分岐することが分かっていて。しかも、二車線のうち一つは対向車線だ。車線を間違えてしまうのではないかと恐怖で心臓が激しく鼓動した。

すると、車道外側に引かれた白線をふと視界にとらえた。私は白線をしっかりと見つめ、無事にその難所をやりすごすことができた。

私たちは暗闇の中で道しるべを必要とします。前方が見えない時、危険は大きくなります。神様の愛は暗闇の中で、私たちに希望を与え、進むべき目標を示してくださいます。人生に生きがいと安定を与えて下さる白線となって下さるのです。私は神様のお与え下さる道しるべに感謝します。道路の白線も、私の人生の白線も、共に私を無事に帰るべき家に導いて下さいます。み恵みに感謝いたします。

讃美歌 291

祈り 愛します主よ。道路の白線でお守り下さいましたみ恵みに感謝いたします。白線を目にする毎にあなたが私の人生の白線であることを覚えることができますように。また、あなたのお与えくださる安全と安心の中で慰めを覚えることができますようにお祈りいたします。

イエス様の御名を通して。アーメン。

シェリル・ベイカー

インディアナ州 ラ・ポート

12月13日(土)

おやすみなさい。お疲れが癒されますように。

聖書朗読 箴言 3：21～26

あなたがたが早く起きるのも、おそく休むのも、辛苦の糧を食べるのも、それはむなしい。主は愛する者に眠りを与えられる。 詩篇 127：2(新改訳聖書別訳)

世の健康のカリスマたちは睡眠の重要性を力説します。しかし、なかなか思い通りに寝付けるものではありません。過去の後悔がまざまざと蘇り、未来への不安が頭をよぎり、快眠を追いやります。

本日の聖書箇所は『あなたが横たわるとき、あなたに恐れはない。休むとき、眠りは、こちよ。』(箴言3:24)と請け合います。しかし、どうしたら恐れずにいられるのでしょうか。それは『すぐれた知性と思慮とをよく見張り、これらを見失』わないことです(箴言3:21)。では、今度は知性と思慮とはどうしたら得られるでしょう。ヤコブ1：5には『あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきつと与えられます。』との確約があります。

知性と思慮を神にお与えくださるよう願う際、1テサロニケ5：17「絶えず祈りなさい。」との注意が伴います。全ての事柄に関しても神に祈り、全ての行動を起こす前にも神に祈りましょう。ヤコブ4：13～15は神に拠り頼むことを忘れて計画を立てることに對して警告を発します。とは言え、行動する前に神に知恵とお導きをいただけるように祈ることはついつい忘れてしまうものです。神にゆだねずに急いで重要な決断を下して行動してしまうことは極めて人間らしい失敗であり、そうしがちであることもまた人間の性質です。それなればこそ、何事もまずお祈りをしてから、という習慣を身に着けることは私たちの他人を見る目、状況判断の仕方、そして決断の下し方を大いに変えることでしょう。

『主があなたのわきにおられ、あなたの足がわなにかからないように、守ってくださる』(箴言3:26)のですから、安眠は誰にでも与えられます。

おやすみなさい。お疲れが癒されますように。

讃美歌 520

祈り み恵み深き父なる寛大なる神様。私たちがあなたにより頼むときに、知性と思慮をお与えくださることに感謝します。心地よい安らぎに満ちた睡眠をお与えくださり、感謝します。
イエス様のみ名を通して。アーメン。

デーナ・マーネス
テキサス州 ビクトリア

12月14日(日)

行 動 は 言 葉 より 雄 弁

聖書朗読 箴言 4：23～27

もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたが私の弟子であることを、すべての人が認めるのです。 ヨハネ 13：35

箴言第4章の作者は知恵を得、真実を述べ、前方を見つめ、またその視線を善から離さず、常に正しい行動をとり、足を悪から遠ざけるように教えます。揺るがず、一貫性をもつように、と教えているとも受け取れます。言葉や行いから人の真の姿を読み取れることもあります。

ある友人が他者を理解する際の助言としてこんなことを教えてくれました。「誰かの言葉を疑った時は、その人がどう行動するかを良く見なさい。もし、行動と言葉が一致しない場合は、行動の方を信じるように。」行動は言葉よりずっと雄弁ですね。

時として、言葉が、本来伝えたいことの邪魔になることもあります。他者への愛を伝えるには、口から発する言葉の数を少し抑え、愛といたわりに満ちた行動を増やすことが重要ではないでしょうか。飢えた者には食事を与え、病にある人を訪ね、家事を手伝い、友人に電話をかけ、カードを送り、隣の人を抱きしめる等々。行動が大切です。

絶えず福音を宣べ伝えなさい。

必要ならば言葉も使いなさい。

—— アッシジのフランチェスコの言葉とされる

讃美歌 第二編 173

祈り み恵み深き主よ。あなたのきよさを伝える器として世で行動できますように、勇気に満ちたひろい心を私たちにお与えください。
イエス様のみ名を通して。アーメン。

ジュディー・サイバート
テキサス州 アビリン